

月 価 / 5月上旬から3週間程度  
料 金 / 保護活動協力金1人300円（中卒  
生以上）  
所在地 / 福島県白河市水原字鎌倉山地区  
駐車場 / 無料駐車場あり  
所要時間 / 駐車場から徒歩500m（歩きやす  
い靴でお出かけください）  
開花期間中「クマガイソウの里まつり」を  
開催。周辺駐車場内に仮設トイレあり。

## 絶滅危惧種のクマガイソウが群れ咲く 全国でも希少な自生地



# クマガイソウの里

境大臣表彰を受けました。そうした先輩方の思いを次世代につなげていきたいと思い、会費を引き受けました。会員は現在35人で、水原地区外に住んでいる会員もいます。

### 福島大学の先生の助言のもと 地域の宝を守り次世代へ

主な活動として、秋に行う水道修理、3月の枝払いや下草刈り、案内板などの準備があります。5月の開



水原の修理や下草刈りをする「水原の自然を守る会」の会員

花期間中は、交代で「クマガイソウの里まつり」の受け付けや駐車場係、安全管理などを担っています。日当たり具合を見極めてからの枝下りなどは、福島大学でクマガイソウの研究をしている先生に、長年にわたるアドバイスをいただいています。

苦勞は、やはり自然災害です。2019年の台風19号の際は、山道が川のようになり復旧作業に時間がかかりました。そんな中、運動力になってるのが、無償で保護し続けてきた先輩方の思いです。その思いを次世代へ継承していくことが、今後の課題です。これまでは福島市立水原小学校の子どもたちと一緒に、クマガイソウが咲く自然を守ってきたのですが、2023年3月に閉校したため、今後どんなふうに子どもたちと関わりを持っていくか、考えているところです。

### 山野草ファンが遠方から訪れる誕生地。5月に開花

水原地区は、3万7千株のクマガイソウが自生している全国でも珍しい場所です。クマガイソウは、地下茎で自然に増えても、開花までに3年を要します。しかも株数の維持が難しい植物で、花粉を運ぶマルハナバチの保護など、周辺の環境保全も含めた自生地の管理が必要です。

2022年に行った株数調査の結果は、地上茎数が3万7千株、開花数が1万1千株でした。6年前の調査より開花数が倍に増えたので、今年も楽しみにしているところです。増えた理由は一概には言えませんが、その年の気象や水漏れ日の当たり具合とか、そういうものもあるかもしれません。でも、本当にうれしい結果でした。

近年は、九州や北海道など、遠方から来られる方も増えています。「来てよかった」と言われるとうれしくなります。ニリンソウやヤマブキソウなど、多様な山野草が見られるのも魅力です。2日から3日で散ってしまうヤマシャクヤクも咲きます。短命花なので、タイミングが

### 約30年前、偶然発見 22年前に守る会を設立

水原地区は、地域を元気にしていこうという思いが強いところだ。「活性化集団水原21」や「下田舎水原郷そば打ち会」など、複数の団体が活動しています。クマガイソウの里は、1991年頃、地区の先輩方が群生地を見つけたのがそもそもの始まりです。当時は、まだ500株から600株くらいだったそうです。盗掘被害などもあり、2002年に「水原の自然を守る会」を立ち上げ、保護活動を始めました。2009年には、地域環境保全功労で環



水原の自然を守る会 会長  
鈴木 孝さん  
1954年生まれ。会社勤めをしながら、代々続く田舎で水産と山菜を生産する農業従事者。20年におたり水原の自然を守る会で活動し、2021年に3代目会長を引き受ける。「クマガイソウの里まつり」では、地元のそば打ち会の会員の一人として働く。ろう。

合えばほんとにラッキー！  
「第20回クマガイソウの里まつり」は、5月上旬から始まります。斜面一帯に咲くクマガイソウが、同じ方向を向いて出迎えてくれます。ぜひ一瞥にしてみてください。



「クマガイソウの里」に咲くヤマブキソウ。多様な山野草も楽しめる。

